



ウイトラレポート 2008年10月号

「ワイヤレス業界の巨人たち Nokia の成功と Motorola の凋落」

はじめに

今回は前回に続いて Nokia について調査結果を記述する。前回触れられなかった、1980年代から1990年代にかけて多角化経営から携帯電話に集中投資して短期間に携帯電話で世界のトップメーカーにのし上がった経過を分析する。Motorola、エリクソン、シーメンス、アルカテル、日本勢などのたくさんの先行メーカーがいる中でどうしてのし上がっていったのかを考えたい。なお、本文は Martti Haikio 著 Nokia -The Inside Story- を主な資料としている。著者とは別に私自身の解釈を加えた部分はそれがわかるように【 】でくくった。

一方 Motorola は1970年代に他社に先駆けて携帯電話に投資し、1980年代には携帯電話の市場は自分たちが作ったと豪語するまでになっていたが、90年代以降は凋落の一途をたどり現在は大規模なリストラの最中である。Motorola がなぜこのように力を失ってきたのかも併せて考えてみたい。